

| | |
|-----------------------|--|
| 第1回 | <p>テーマ：オリエンテーションと看護学概論（財津倫子）</p> <p>・看護の歴史、看護理論、看護の定義について解説する。</p> |
| 第2回 | <p>テーマ：「生活」の4つの側面（財津倫子）</p> <p>・生活者としての人間について「4つの側面」から解説し、多職種チームとしての情報共有と継続的関わりについて解説する。</p> |
| 第3回 | <p>テーマ：子どもの健康と栄養（樋口由貴子）</p> <p>【基礎編】</p> <p>・子どもの食物アレルギーについて解説し、対応の仕方を学ぶ。</p> |
| 第4回 | <p>テーマ：子どもの健康と栄養（樋口由貴子）</p> <p>【治療編】</p> <p>・子どもの食物アレルギーについて解説し、対応の仕方を学ぶ。</p> |
| 第5回 | <p>テーマ：慢性疾患を持つ患者の看護1（中原智美）</p> <p>・がんの治療と看護について解説する。</p> |
| 第6回 | <p>テーマ：慢性疾患を持つ患者の看護2（中原智美）</p> <p>・終末期におけるがん看護について解説する。</p> |
| 第7回 | <p>テーマ：慢性疾患を持つ患者の看護1（井手裕子）</p> <p>・生活習慣病の1例として、糖尿病患者への看護について解説する。</p> |
| 第8回 | <p>テーマ：慢性疾患を持つ患者の看護2（井手裕子）</p> <p>・生活習慣病の1例として、糖尿病患者への看護について解説する。</p> |
| 第9回 | <p>テーマ：急性疾患患者の看護1（財津倫子）</p> <p>・胃がんの手術を受ける患者の看護を解説する。</p> |
| 第10回 | <p>テーマ：急性疾患患者の看護2（財津倫子）</p> <p>・胃がんの手術を受ける患者の看護を解説する。</p> |
| 第11回 | <p>テーマ：精神疾患患者の看護1（矢治亜樹子）</p> <p>・統合失調症・うつ病を持つ人へのケアとチームアプローチ</p> |
| 第12回 | <p>テーマ：精神疾患患者の看護2（矢治亜樹子）</p> <p>・アルコール依存症・摂食障害をもつ人へのケアとチームアプローチ</p> |
| 第13回 | <p>テーマ：疾病を持つ高齢者の看護（吉原悦子）</p> <p>・脳血管疾患、認知症について解説する。について解説する。</p> |
| 第14回 | <p>テーマ：療養が必要な人々の看護（吉原悦子）</p> <p>・地域での療養生活を支える看護を解説する。</p> |
| 第15回 | <p>テーマ：全体の講義のまとめ（財津倫子）</p> <p>・全体の講義を通して、看護師の役割や、多職種チームとしての継続的関わりについて考察する。</p> |
| テキスト | 特に定めていません。必要時、資料等を配布します。 |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 適宜紹介します。 |
| 課題に対するフィードバックの方法 | ・オムニバス形式の講義で、それぞれの教員が講義時間内にレポートを課し、評価します。持ち帰っての課題はありません。 |

| | |
|----------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・レポートのまとめ方については、講義中に提示します。・レポートを提出する際は、引用文献も記載してください。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | <ul style="list-style-type: none">・既習の解剖生理学、病理学、臨床生理学などで学んだことを振り返っておいてください。・本講義はオムニバス形式にて各看護学領域の教員で担当します。・第一回目の講義が栄養学科の実習と重なり、補講（土曜日に補講予定）となります。変更については初回講義時にオリエンテーションします。その他にも、看護学科の実習の関係で講義順序を変更する可能性がありますので、その都度ご連絡します。ご注意ください。・将来、栄養の専門職として、看護師と協同することを考えながら、学習を進めましょう。 |

